

## 障がい者スポーツをもっと身近に

### 障がい者スポーツ体験会

8月4日(日)、総合体育館研修室で障がい者スポーツ体験会が開催されました。最初に行われたのは、ロンドン2012パラリンピック男子柔道73kg級5位入賞の高橋秀克選手の講演会。選手視点の貴重な体験談に参加者は聞き入っていました。続いて行われた体験会ではポッチャと卓球バレーが実施され、白熱した試合に大きな歓声が上がっていました。



↑貴重な写真を手に語る高橋選手。後半では柔道の技を披露し会場を沸かせました。



↓講演後は、競技用の車いすに乗って車いすバスケットを体験。



## パラアスリートと車いすバスケット 永田裕幸選手から学ぶ講演会

8月10日(土)、リオデジャネイロ2016パラリンピック車いすバスケット日本代表で、三芳町在住の永田裕幸選手による講演会が三芳町総合体育館で行われました。バスケットの腕を磨く傍ら、全国の小中学校で講演するなどパラスポーツの普及活動を行っている永田選手。この日は、車いすバスケットのルールや欧米とのバリアフリー環境の違いなどの講演後、車いすやボールの使い方などを一緒に体験して学びました。

↓地元の人々の手で美しい神社と伝統が受け継がれています。



## 浅間神社の小さな山開き 地域の力で伝統を受け継ぐ

8月1日(木)、汗が止まらない暑さの中、浅間神社で行われた山開き。毎年、旧暦の山開きの日である8月1日に合わせて、地元の人々が境内の草刈りを行っています。浅間神社は富士山を信仰する神社。境内には富士山に見立てた小さな山があります。集まった人々は山の斜面の草も慣れた手つきで刈り取り、美しく整備していました。地元の人々の想いが地域の伝統を守り続けています。



## こだわりの土で育った夏の味覚を収穫体験

### 笑顔とえだまめをお持ち帰り

7月27日(土)・28日(日)、早川農園で三富落ち葉野菜研究グループ主催のえだまめがりが行われました。落ち葉堆肥農法で育ったえだまめを求める人々で畑は満員になりました。会場には、ひまわりのフォトスポットや輪投げなどのブースも登場。両手いっぱい抱えるほどのえだまめを持ち帰る参加者の表情は笑顔に満ちあふれていました。



↑ひまわりのフォトスポットで、思い出のスケッチと一緒に記念撮影。

↓伸して重ねたそばを同じ幅になるように丁寧に切っていきます。



## そばと野菜のコラボイベント そば打ち体験&採れたて野菜堪能

8月7日(水)、「ぶらっと、みよし。協議会」と「ふじみ野市蕎麦商組合有志会」のコラボイベント、「そば職人に教わる！そば打ち体験&採れたて野菜堪能」が早川農園と農業センターで行われました。丸々と実ったえだまめを収穫した後、そば職人にそば打ちを教わる参加者たち。自分で打った冷たくてコシのあるおそばに、子どもも大人も舌鼓を打っていました。

↓上映後に行われた明石さんや監督などによるトークセッション。



## 生きるために食べ物をつくる 「お百姓さんになりたい」完成披露上映会

6月23日(日)、三芳町の明石農園を題材にした映画「お百姓さんになりたい」の完成披露上映会が、藤久保公民館で行われました。28歳の時に東京から移住し、新規就農した明石さん。肥料を使わない自然栽培や障がいのある人の得意分野を活かしてノウフク(農業福祉連携)に取り組む様子などが描かれています。映画は、8月24日(土)からポレポレ東中野などで公開中です。